

令和8年度“安全”な伐倒技術『認識』研修

安全な伐倒で自分と仲間を守る！



日時 座学(1日)と実習(いずれか1日)の2日間
・座学:8月31日(月) ※参加必須
・実習:9月1日(火)～3日(木) 各日 9:00-16:30

場所 座学:京北合同庁舎 1-1会議室
〒601-0292 京都市右京区京北周山町上寺田1-1
実習:雲ヶ畑林業総合センター
〒603-8862 京都市北区雲ヶ畑中津川町323

対象 京都市内で林業に従事されている方

定員 9名 ※実習は各日 3名

申込期間:令和8年7月29日(水)10時
～8月17日(月)17時

主催・お申込み及びお問合せ先

京都市 産業観光局 農林振興室

TEL :075-222-3346 FAX :075-221-1253 (担当:中川、野口)

令和8年度“安全”な伐倒技術『認識』研修

【講師】

Woodsman Workshop LLC. 代表 水野 雅夫 氏

伐倒練習機MTW-01を発売・開発し、全国各地で伐倒練習機を用いた技術指導を行うほか、目立てやかかり木処理などの基礎技術、コーチング（指導者の育成）研修にも力を入れています。林業に携わり30年、20数年間の現場業務を経て、現在は、講師業に専念しています。

【研修プログラム】

座学での研修（参加必須）を行ったのち、1日間の伐倒トレーニングを少人数制で体験します。

【座学】

○安全の再考、伐倒の再考

労災の現状から“安全”について再考します。また、死亡災害の6割が伐倒作業中に発生しているため、伐倒を失敗する原因を考え、実習に繋がめます。

【実地研修】

○伐倒練習機（MTW-01）を用いた伐倒練習

林内で伐倒を練習する前に、伐倒練習機を使って切削の基礎を十分に反復します。現場は斜面なので、斜面でのポジショニングやチェーンソーを水平に保つ練習は必須です。また、立木の山側と谷側を常に認識しておくことも安全な伐倒作業を進めるためには欠かせません。正確で再現性の高い伐倒の基礎技術向上を目指します。

【持ち物】

水分、昼食、筆記用具、防寒具、雨具、
チェーンソー、チェーンソーの整備工具一式、防護装備一式、
（イヤーマフとフェイスガード付きヘルメット、作業用手袋、
チェーンソーブーツ、チェーンソーパンツもしくはチャップス）

【注意事項】

- ★少雨の場合も、野外での実習を行います。カッパなどの雨具を持参ください。
- ★見学の際はヘルメット、イヤーマフ（耳栓）をご持参ください。
- ★見学中の私語はご遠慮いただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。



<補助金のお知らせ>

講習を受講される方で、要件を満たす方は、安全対策物品等の購入補助が受けられます。

・対象経費1/2以内(上限10万円まで)

・補助対象となる物品

チェーンソー防護ズボン、チェーンソー防護ブーツ、林業用ヘルメットなど

詳しくは

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000335429.html>

